

第16回 我孫子市放射線対策会議 会議概要

【場 所】 市長応接室

【日 時】 平成23年1月16日（月）15:00～16:30

【出席者】 市長、副市長、教育長、水道局長、消防長、子ども部長、管財課、市民安全課長、環境経済部長、農政課、都市部、建設部長、健康福祉部長、健康づくり支援課、障害福祉支援課、教育委員会総務部長、教育委員会総務課長、学校教育課長、生涯学習部長、公園緑地課長、保育課長、道路課長、総務課長、クリーンセンター課長、広報室長、放射能対策室長

（報告事項）

（1）放射線量測定結果及び放射能に関する対応について

（保育課）

- ・ 私立保育園では、1園で7か所の測定を実施。マップを作成した。次回から10か所の測定をする予定。公立保育園では、10か所のきめ細かな測定を実施し、マップを作成した。幼稚園は、1園で7箇所を測定した。今後は10か所の測定を目指し幼稚園と協議を継続していく。いずれも、ホームページで公表していく。

（学校教育課）

- ・ 小・中学校では、20か所以上の測定を実施。マップを作成し、ホームページで公表した。今後は、書式の統一を図っていく。この他に2週間に1度の測定結果（校庭5地点+砂場）も公表しているが測定期日等の違いから、整合性がないと見られる懸念があるのでどちらか一方に統一した方がよい。

（2）天王台行政サービスセンターでの除染実証実験について

- ・ 天王台行政サービスセンター出入り口付近（インターロッキングブロック）の測定結果が、高さ5センチメートルで0.46マイクロシーベルト（4か所平均）であった。そのため「ケミクリーンNo.7 S」を使用し除染試験したところ高い低減率が見られた。低減率は、53%～71%、側溝でも試験した結果低減率は99%であった。
- ・ 試験は、「ケミクリーンNo.7 S」を試験場所に散布し、デッキブラシでこする。その後、高圧洗浄機で洗い流すという手順で行った。
- ・ 測定機は、GM管式サーベイメータを使用。
- ・ 柏市でも、効果があったが周囲の側溝の値が高くなる傾向があり、今後の使用については検討中である。コンクリート、アスファルトでは除染作業をしても値が下がらないことが多く、他の方法が見つかるまでは、「ケミクリーンNo.7 S」を使用していく。
- ・ 委託料は、15㎡～20㎡で、55,650円。
- ・ 今後、第一小学校の古いアスファルト・コンクリート、根戸小学校の学童の入口等・新校舎のわたり廊下等複数をまとめて発注、試験的に導入していく。
- ・ 効果を確かめるため、通常の高圧洗浄との比較が必要。

(3) 除染計画・補助金についての環境省との協議について

- ・ 校庭の放射線量について、除染前の測定値と除染実施時期が分かれば、基準日は問わない。
- ・ 除染作業に伴い行われる、学校遊具等の移設の場合は個別に相談、新設の場合は対象外となる。
- ・ 私立保育園・幼稚園への除染に関する補助金は、園独自に実施したものは交付されない。ただし、市の委託事業という形式で申請すれば交付可能。
- ・ 線量計・高圧洗浄機などの備品は補助金の対象となるが除染作業に従事しない人の健康管理のためのものは対象外となる。
- ・ 民地の除染について、我孫子市は年間2～3ミリシーベルト程度であり、環境省では比較的線量の低い地域と認識しており、助成は考えていない。
- ・ 除染の目標値の設定は、基本的に1メートルでの値を基準とする。ただし、柏市では市内63校について、5センチメートルでの値を基準にしている。我孫子市でも、学校については5センチメートルを基準としていく方針。
- ・ 除染計画の策定期限は無いが、遡及適用する分は今年中に計画に位置づける。
- ・ 道路側溝の汚泥を一時保管するための建屋の設置については個別に相談。
- ・ 草刈後の集草用のパッカー車購入費は対象とならないが、リース料は対象となる。
- ・ 汚染土について、天地返しであれば遮水シートは必要ないが、保管する場合は遮水シートで覆う必要がある。

(4) 側溝汚泥を保管する建屋の建設について

- ・ 横幅15メートル、奥行き30メートル、高さ7メートル20センチ、建設等の費用2766.5万円。
- ・ 除染作業で搬出された汚泥をフレコンバック年間400体程度とすると、3年間は保管が可能と思われる。
- ・ 現在は、道路課で収集した汚泥のフレコンバック、97体が土木センターに保管されている。
- ・ 学校の汚染作業からの汚泥も対象となる。汚泥の放射線量については、ガイドラインの数値（毎時0.69マイクロシーベルト→3,000ベクレル/kg、毎時1.8マイクロシーベルト→8,000ベクレル/kg、毎時6.9マイクロシーベルト→3万ベクレル/kg）を参照し、空間線量を測定する。

(その他)

(GMサーベイメーターの購入について)

- ・ 除染作業をした際に使用したマスク・手袋等を廃棄する前に放射線量を測定する必要がある。クリーンセンター・土木センター、公園緑地課、教育委員会、放射能対策室・保育課で1台ずつ、4台程度GMサーベイメーターを購入する。除染業者にも、貸し出しを行う事も考えられるので、台数については再度検討が必要である。